地域の情報をお届け!

呉トピックス

寒波乗り越え ミモザ出荷本格化

江田島市鹿川地区の田中農園で3月上旬、ミモザ(アカシア)の収穫・出荷がピークを迎えました。

ミモザは銀色がかった色の葉と、枝垂れた枝いっぱいに咲かせる丸くて小さな花が特長。近年、人気が高まり、街路樹や切り花などによく利用され、「ミモザの日(国際女性デー)」には家族や職場の同僚などの親しい女性に贈られるそうです。

広島市と呉市の市場へ出荷する同農園では40aで約200本を栽培。昨年夏の猛暑で生長の遅れと年明けの寒波の影響が心配されましたが、収穫にこぎつけました。蕾の状態で収穫し農業用ハウスで4日ほど加温して開花させ出荷します。

田中智さんは「自然のことなのでしょうがない。猛暑、寒波を乗り越えて無事に出荷できる。今年は特に、貴重なミモザ。日頃の感謝を込めて、男性から女性に贈ってほしい」と話しました。

▶ミモザの咲き具合を確認しながら出荷作業する田中さん

こだわり葉つき デコポン出荷ピーク

くれ選果場で2月下旬、同選果場のPB(プライベートブランド)商品「こだわりかんきつシリーズの「こだわり葉つきデコポン」が出荷ピークを迎えました。

2月上旬樹別に果汁分析検査を行ない、糖度が13度以上かつ酸度が1度以下の基準を満たした樹を商品化。葉を2、3枚つけた状態で収穫、着色状況や傷、葉の状態などをきめ細かく検品します。

トレイに整然と並べられた果実は見た目に美しく、葉のグリーンと果実のオレンジのコントラストが色鮮やかで贈答用はもちろん売り場の店頭ディスプレイ用としても重宝されています。

検品したくれ柑橘事務所の今田隆司所長は「管理が徹底されて、かんきつの王様と呼ばれるにふさわしい品質に仕上がっている。収穫直後の鮮度が保たれ、フレッシュな香りで味も抜群。多くの消費者に味わって喜んでいただきたい」と話しました。

▲デコポンの出来を確認する今田所長

生産者が出演 RCC「つなぐ大地の絆」

2月中旬、JAグループ広島自主制作番組「つなぐ大地の絆 Baton ~Season2~」の収録がありました。

江田島市鹿川地区の田中智さんと呉市倉橋町の濱浪公太さんが出演されました。

RCCテレビで3月6日(木)、13日(木)に放送され、就農のきっかけや農業への想いや夢を語りました。

YouTubeでも視聴できますのでご覧ください。

▲出演した田中智さん㊧と濱浪公太さん

支店長会議開催 県警からフィッシング詐欺など学ぶ

JA呉地域は2月中旬、支店長会議を開き、地域統括長、支店長に加え、課長、地域営農経済センター長ら30人が参加しました。事業実績の報告や2025年度に向けた課題、活動計画などを確認し、意識の統一を図りました。

また、広島県警呉警察署生活安全課の髙田秀則課長を招き、近年増加しているフィッシング詐欺について説明を受けました。

同署の髙田課長は国際電話番号による特殊詐欺の他、同県警のスマホアプリ「オトモポリス」を使いフィッシング詐欺の特徴を動画で紹介。参加したJA職員がスマートホンで実際にアプリをダウンロードして体験しました。

▲アプリ「オトモポリス」で動画を視聴し体験するJA職員ら

なるほどえ～のう！営農情報

落葉果樹

■防除

防除とは、事前に病気や虫の被害から樹や果実を守る（予防する）ことを指します。

防除方法の一つとして薬剤散布があります。その中で殺菌剤のほとんどは治療薬ではなく、被害拡大の防止を目的とした予防薬と思ってください。また殺虫剤も効果を発揮させるためには発生初期など散布タイミングがあります。

農薬登録されているものはすべて、収穫前日数や使用回数が設けられています。使用基準を厳守するとともに散布日などの記帳も怠らずに行なってください。

■いちじく

新梢（新芽）から発生した葉が3・4枚開いたころから芽かきを始めます。

枝の背面から発生している芽は強勢な枝となり、樹形や品質を乱しやすいために、側面から発生している芽を残すように心がけます。

残す本数は、1㎡あたり5本程度が目安となります。

また、新梢は放置しておくと伸び続けるため、葉数が10～12枚程の節で摘芯しましょう。

4月中旬頃はアイノキクイムシや5月の下旬頃はカミキリムシの発生が考えられます。対策として「ガットサイドS」の原液又は1・5倍に薄めて主幹部に塗布又は散布してください。また、カミキリムシの食入穴（木くずの様なものが穴から出ていたら要注意）を見つけ次第「園芸用キンチョールE」を注入しましょう。

■キウイフルーツ

5月中旬には開花が始まるので、事前に摘蕾を行ないましょう。キウイフルーツは側花を摘蕾します。

キウイフルーツの摘蕾

■ブルーベリー

果実の成長期にあたるので、降雨が少なく土壌が乾燥気味の時はかん水を行なうようにしてください。鳥による食害を受けやすいので、ネットなどで対策を講じることが必要です。ケムシやイラガ・ミノムシなどによる被害も増加し始める時期にあたります。

ブルーベリー栽培では、基本的に農薬を使用されない方が多いと思われますので、捕殺するように心がけてください。

■モモ

モモは花粉が少ない、あるいは全くない品種があります。結実量が少ない樹は人工授粉をしましょう。

モモの着果調節の目安

結果枝（長さ）	1回目（予備摘果）	本摘果	修正摘果
極短果枝（5㎝以下）	2～3本に1果	3～4本に1果	
短果枝　（5～15㎝）			
中果枝　（15～30㎝）	1本に2～3果	1～2果	1果
長果枝　（30～50㎝）	1本に4～5果	2～3果	2果
極長果枝（50～100㎝）	ほぼ無摘果	7～10果	3～5果

■カキ

カキの実止まりを促進させるには摘蕾が重要となります。

着花量が多すぎると養分競合により落果しやすくなります。4月中旬頃から開花期までに1結果枝（蕾が着いている枝）あたり1蕾となるように行ないます。

《残す蕾》
①結果枝の基から2～3番目の位置
②形の良いヘタが4枚揃っている
③日焼けしにくい位置（下向きもしくは横向き）

MEMO

今年は暖冬傾向であったにもかかわらず、3月に入っても冬並の天候となった日がありました。

その年の気温によって生育ステージの変化も考えられますので、観察を怠らず、事前に備えることが重要です。

連作障害

同じ場所に同じ野菜もしくは同じ科に属する近縁の野菜などを続けて作付けすることを「連作」といい、通常の管理をしても生育、収量、品質が劣ったり、病害虫の発生が多くなることを「連作障害」といいます。安定した野菜栽培を続けるには、この連作障害を出さないようにすることが大切です。

■原因

①土壌病原菌や土壌害虫の加害
土壌伝染性病害ともいい、土壌中で増加した病原体が主に根から侵入して病気を引き起こす。(例:萎凋(いちょう)病、青枯れ病、つる割れ病、ネコブ病など)

②土壌の理化学性の悪化による生理障害
土壌中の養分の過不足や気温の変化、降水量、日射量のストレスによって起こる。

③植物の根からの毒素による害(いわゆる「いや地現象」)

④その他不明の原因
この中でも多いのは土壌病害で、ナス科野菜、ウリ科、イチゴ、ダイコンなどのフザリウム病(萎凋(いちょう)病、つる割れ病、萎黄病など)やアブラナ科野菜のネコブ病、ナス科野菜の青枯れ病、ジャガイモのそうか病があり、各種野菜のセンチュウなど害虫の被害も大きいです。
土壌の理化学性の悪化は、耕盤の形成や酸性またはアルカリ化、肥料過多による土壌溶液濃度の高まりや、養分バランスの乱れなどによる栄養障害の発生によるものです。
連作障害が特に著しいのはエンドウ、ソラマメ、サトイモなどです。また、ナス科、ウリ科、アブラナ科野菜も共通の病害虫を持っているので、障害が出やすいです。

■対策

連作障害対策として、第一に守ることは、発生しやすい野菜は一定期間ほかの野菜を組み入れ、輪作を行なうことです。輪作で開ける年限の目安は以下のとおりです。

◉1年…ホウレンソウ、コカブ、キャベツなど
◉2年…ハクサイ、ハナヤサイ、レタス、インゲンなど
◉3~4年…トマト、ナス、ソラマメ、サトイモなど
◉4~5年…エンドウ、スイカなど

ただし、果菜類で耐病性の台木に接ぎ木したものは連作することができます。
適正な土づくりや施肥を行なうことも大変重要です。その他、コンパニオンプランツを取り入れたり、積極的に土壌消毒をする方法もあります。

※輪作…連作障害を防ぐため、同じ場所で、違った植物(品目や科)を年毎に定期的に循環させて栽培すること。
※輪作の基本は、イネ科作物、マメ科作物、根菜類の組み合わせがよいとされています。イネ科の作物は地力のアップ、マメ科作物はチッ素固定による土壌中のチッ素量の増加、根菜類は収穫作業で土を深く掘り起こす作用があります。

【コンパニオンプランツ】 野菜を1種類だけで育てるときと比べ、異なる種類の野菜を一緒に栽培すると、病害虫を抑えられたり、成長を促進できたりすることがあります。そうした良い影響をもたらす作物の組み合わせを「コンパニオンプランツ」と呼びます。

	主役の野菜	コンパニオンプランツ
果菜類	トマト	バジル、ラッカセイ
	ナス	ニラ、ショウガ、セロリ
	ピーマン	つるなしインゲン
	キュウリ	つるありインゲン、葉ネギ、ラディッシュ
	トウモロコシ	つるありインゲン、つるなしインゲン
	エダマメ	サツマイモ、トウモロコシ、ハクサイ、ニンジン、ミント
	インゲン	キュウリ、ジャガイモ、マリーゴールド、トウモロコシ、ルッコラ
	イチゴ	ニンニク、葉ネギ、カモミール、マリーゴールド、ラベンダー
葉菜類	カブ	ニンジン、ハツカダイコン、シュンギク、葉ネギ、マリーゴールド
	シュンギク	ダイコン、ハクサイ、エダマメ、チンゲンサイ、バジル
	ニンニク	トマト、キュウリ、アスパラガス、イチゴ
	ネギ	トマト、キュウリ、ホウレンソウ、イチゴ
	アスパラガス	ニラ、ニンニク、ミツバ、パセリ、ミニトマト
イモ類	サトイモ	ダイズ
	サツマイモ	エダマメ、ムギ、ゴマ、赤シソ

第69回 広島花の祭典

農林水産大臣賞を含む16賞を占める快挙

2月下旬、広島市のレクト広島で第69回広島花の祭典が開催されました。

花き品評会に県内から144点が出品され、呉地域管内の生産者が農林水産大臣賞を受賞するなど、24賞のうち16賞を占めました。

受賞者、品名等について以下のとおりです。（敬称略）

農林水産大臣賞

品　目：コウモリラン

品　種：ビフルカツムネザーランド

受賞者名：はなぞの野呂高原

地　区：呉市

広島県知事賞

品　目：スターチス

品　種：スーパーピンク

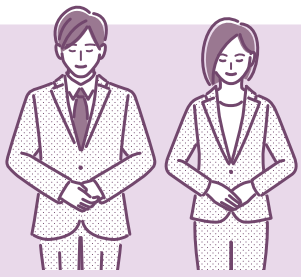
受賞者名：小林農園

地　区：江田島市

賞　名	品　目	品　種	受賞者名(敬称略)	地区
広島市長賞	SPストック	カルテットホワイト	岡廣　勲	北広島町
中国四国農政局長賞	バラ	ジュミリア	田中　明	江田島市
農林水産省農産局長賞	トルコキキョウ	セレブアメジスト	田中　智	江田島市
日本ばら切花協会長賞	バラ	ブードゥ	田中　明	江田島市
日本花き卸売市場協会長賞	カトレア	パメラフィニー	谷本農園	広島市
日本花き卸売市場協会中国四国支所長賞	SPカーネーション	スターチェリー	長坂農園	江田島市
全国農業協同組合連合会広島県本部長賞	ナデシコ	キウイグリーン	田中　智	江田島市
公益社団法人広島消費者協会長賞	ＳＰバラ	サンアデュー	則貞農園	廿日市市
花満賞	ストック	アイアンアプリコット	(有)山本農園	江田島市
呉生花市場賞	スターチス	オーシャンウイングス	小滝　正則	江田島市
広島県東部花き賞	ガーベラ	テラマガ	小滝　正則	江田島市
広島市三友生花卸売商業組合長賞	カーネーション	クロム	楠部　辰一	江田島市
広島県花き商業協同組合理事長賞	SPバラ	ウーピー	則貞農園	廿日市市
広島生花出荷協同組合理事長賞	切花ファレノプシス	ファーストレディ	はなぞの野呂高原	呉市
広島県花卉園芸農業協同組合長賞	ファレノプシス	ピンキー	小林洋蘭	福山市
ＮＨＫ広島放送局長賞	シクラメン	ピンク	村上農園	江田島市
中国新聞社賞	パフィオ	ブラウン	兼綱洋蘭園	北広島町
中国放送賞	ファレノプシス	Ｖ３	オーキッド向島	尾道市
広島テレビ放送賞	花鉢	季節の寄植④	村上農園	江田島市
広島ホームテレビ賞	パフィオ	モーディエ	谷本農園	広島市
テレビ新広島賞	カーネーション	アクティバ	長坂農園	江田島市
広島エフエム放送賞	カーネーション	セッション	楠部　辰一	江田島市

お知らせ

組合員・利用者の皆さまへ



令和7年4月1日(火)より、右記のとおり購買店舗の閉鎖および営業時間を変更いたしました。

組合員・利用者の皆さまにご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、皆さまのご期待に沿うべくより一層のサービス向上に努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

◉購買店舗閉鎖について

閉鎖店舗	引継ぎ店舗
広東店	呉アグリセンター
広西店	
広南店	
広北店	
深江店	大古店

◉営業時間変更について

店舗名	営業時間（変更後）
郷原店	8：30～15：00
昭和店	8：30～12：00